

施政方針にみる新年度の重要項目

きらきら  
いきいき  
ふれあい育む  
豊かなめぐみ野

# 施政方針

かすみがうら市8年目のまちづくりがスタートしました。  
宮嶋光昭市長が発表した本年度の施政方針をお伝えします。



市長  
宮嶋光昭

平成24年度の市政運営に当たり、その方針の一端を申し上げます。

## 現

下の経済情勢は、東日本大震災からの復興に向けた官民総力を挙げての取り組みにより景気が持ち直しに転じたものの、欧州政府債務危機の顕在化や歴史的な円高による世界経済の減速により、総じて緩やかなものとなっています。今後、復興施策の本格化に伴う景気の回復も見込まれま

すが、財政健全化の取り組みである社会保障と税の一体改革の動向が、国内外に大きな影響を与えることから、国民生活においては、先の見通せない状況となっています。

方、観測史上最大規模を記録した東日本大震災は、誘発された津波により東北太平洋沿岸地域に壊滅的な被害をもたらすとともに、東京電力福島第

一原子力発電所の事故など、広い範囲で大きな被害がでています。本県においても未だ痛ましい痕跡が残っており、一日も早い復興が待たれている状況です。

## 本

市においては、最大震度6弱を記録し、その激しい揺れから道路や水道などのライフライン、市民の方々の家屋など、さらには千代田庁舎などの公共施設に大きな被害を受けました。幸いにして、尊い命は守られたものの、震災直後の復旧に際しましては、行政として大きな課題を残してしまったのも事実でございます。

## 震

災後、間もなく1年を経過いたしますが、この間、私は、間髪を入れずに復旧復興の対応に力を注いでまいりました。しかしながら、放射能問題が大きな阻害要因となり、未だ災害からの脱却には至っていないと認識しております。さらに、先般、東京大学地震研究所から、将来に向けた大

## こ

地震の発生の切迫性が発表され、改めて、本市千代田庁舎の危険性が危惧される所です。この予断を許さない状況から、市民の皆さまの安全性を確保するため庁舎内の行政機能の一部移転を決意したのはご案内のとおりでございます。今後につきましては、市民の皆さまや市議会のご意見を伺いながら庁舎建設のあり方について、総合的な視点から判断したいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

れらを踏まえ、平成24年度の行政運営におきましては、市民の皆さまの災害に対する安心安全の確保、放射能被害に対する適切な対応、さらには、地域産業などにおける震災からの着実な復興に力を注いでまいり所存でございます。

今後とも、市民参加型の行政推進を基本としてまちづくりを進めてまいりますので、一層のご支援をお願いいたします。



豊かな学びと創造のまちづくり

活力ある産業を育てるまちづくり

健やか・安心・思いやりのまちづくり

自然と調和した快適なまちづくり

みんなでつくる連携と協働のまちづくり